



吉川小だより 11月号

京都府亀岡市立吉川小学校

令和7年10月31日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



読書ってすばらしい！

今月18日に開催された運動会では、多くのご家族や地域の方々にご参観いただき、子どもたちの頑張りに大きな声援を送っていただきました。また、前日の準備や当日の後かたづけもたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

さて、近頃は朝晩めっきり気温が低くなり、秋を通り越して初冬のような日もありますが、今回の話題は「読書の秋」です。というのも、先日ニュースで「子どもたちの読書離れが進んでいる」という記事を目にしたからです。

それによると、学校がある日に1日の中でまったく読書をしないという子ども（小・中・高生）の割合が、52.7%となり、10年前に比べて1.5倍となっているとのことでした。この傾向は学年が上がるにつれて増加しており、小学校低学年でおよそ3人に1人、高学年ではおよそ2人に1人が読書時間ゼロでした。一方、スマホの利用時間はすべての学年で大きく増加していました。

子どもを取り巻く環境は、日々大きく変化しています。しかし、本を読む子どもが減っているのは、たいへん残念なことです。

一方、「読書をするるとどんなよい効果があるか」という記事も出ていたので、併せて目を通してみました。そこで紹介されていたのは、次のようなものでした。

- ① 会話力や文章力が向上する
- ② 語彙（知っている言葉）が増える
- ③ 教養や知識が身に付く
- ④ 想像力が豊かになる
- ⑤ ストレスを解消できる
- ⑥ 集中力がアップする

自分の経験から考えると、②は自信をもって「効果あり」と言えます。本に載っている言葉は、洗練されていて無駄がありません。特に小学生の時は

覚えた言葉を使いたくなる時期であり、実際に口に出してみることで、より記憶が確かになります。だから、①や③にもつながっていくのでしょう。また、実際にページをめくって読むことで、指から脳によい刺激が伝わることも知ることができました。

今日は月末の最終金曜日で、「親子読書の日」です。保護者の皆様も、子どもたちと一緒に本に親しみ、秋の夜長を満喫してみませんか？

